



Opera "THE POLANO PLAZA"

第17回 鳥取県立倉吉音楽センター
フェスタ とっとり
鳥取県立倉吉音楽センター

鳥取オペラ協会

lib 宮沢賢治
tk 中村敬一
nm 新倉 健

ポラーノの広場

nm/松岡 究
tk/中村敬一
管弦楽/ミンクス室内オーケストラ

2002(平成14)年 10月 20日(日) 14:00開演

鳥取県立倉吉音楽センター大ホール(倉吉パークスタジアム)

STAFF

指揮	松岡 究
演出	中村敬一
装置・映像プラン	増田寿子
装置・映像プランアシスタント	野崎みどり
照明プラン	磯木 実
衣裳プラン	半田悦子
音響アドバイザー	小野隆浩
大道具操作	監スタッフユニオン
照明操作	監大阪共立
衣裳操作	東京衣裳科
音響操作	監大阪共立
ヘア・メイク	監丸善
舞台監督	青木一雄
副指揮者	新倉 健
	竹田篤司
	佐々木道也
練習ピアノ	新田恵理子
	宗廣真澄
	兼田恵理子
	稲毛麻紀
	毛利文女
	山下良子
舞台監督助手	伊藤英理
	上田智子
	河島 真
	丸山達夫
	山下良子
	河邊美岐
	唐谷裕子
	西岡千秋
演出助手	西岡千秋
プロデューサー	西岡千秋
マネージャー	三好芳子
事務局	山本喜三
	福西左和代
	種子真一

CAST

キュースト	吉田章一
ファゼーロ	寺内智子
	浜中雪絵(アンダー)
ミーロ	恩田千絵
	木下 愛(アンダー)
ロザーロ	尾前加寿子
	岩井祥子(アンダー)
山猫博士	西岡千秋
テーモ	山田康之
給 仕	北村保史
巡 査	加藤耕一
床屋の親方	小椋美香子
	鶴崎千晴(アンダー)
床屋の職人①	山尾純子
	森 尚美(アンダー)
床屋の職人②	塩崎みぐみ
	八幡ゆうこ(アンダー)
農 夫	松本厚志
舞 踊	相川千春
	藤下久美子
助 演	中村美音
	松本麻奈美
合 唱	ポラーノ合唱団
オーケストラ	ミンクス室内オーケストラ

■企画・制作 計羽孝之

主催 ■文化庁、鳥取県、鳥取県教育委員会
倉吉市、倉吉市教育委員会
第17回国民文化祭鳥取県実行委員会
第17回国民文化祭倉吉市実行委員会
鳥取オペラ協会

7



本当の「ポラーノの広場」 中村敬一

20世紀の初め、東北の農村にイーハトーブを夢見て生きた賢治。彼の目指した農村の理想郷は「ポラーノの広場」に投影されている。賢治自身、実生活でも農学校での教職を通して、農民への献身的な活動に身を投じ、やがて、教師を辞して農民になろうとさえる。が、その志の途中、彼は病の床に伏す。それほど思いと裏腹に、農民たち間での孤立感、疎外感を深め、農民になりきれないもどかしさに挫折を体験していく。

20世紀はイデオロギーによる革命が進み、各地で新しい共産の国が誕生する。しかし、振り返ってみれば、戦争と殺戮、民族紛争の世紀だった。やがて社会主義は頓挫し、イデオロギーによる東西の構図すら消え去る。

世紀末、人々は東西の壁の崩壊の喜びに酔い、新しい世界秩序の出現の喜びを享受したのも束の間、その幻影は世紀の終焉とともに同時多発テロで音を立てて崩壊した。

時代の変革期に我々は未来を見ることが出来るのだろうか？現代人の我々に本当の「ポラーノの広場」は存在し得るのだろうか。

賢治と重なるように思われる主人公、キュースト。彼は傍観者であり、よそ者だ。一匹の山羊が村人たちの生活テリトリーに逃げ込んだことで、深く農民たちの生き方に関わるようになっていく。しかし、そこにあったのは旧弊な持てるものと搾取されるものとの醜い相克だった。

彼は農村の未来への明るい期待を胸に、若い農民たちとともに「ポラーノの広場」を求めた。子供の頃、聞いた伝説のように、つめ草の灯りを頼りに探し求め、たどり着いたのは、伝説の「ポラーノの広場」ではなかった。それは、密造酒工場の変で、県議員が票集めのために催し、それと知って打算の上に集まった村人たちの宴会。

まさに、それからが本当の「ポラーノの広場」への長い道のりの始まり。物語ではやがて、密造酒工場を共産の地場産業の協同組合に変えて、彼らの新

しい「ポラーノの広場」は完成しつつあるように見える。しかし、キューストはそこを去り、都会へ舞い戻る。永遠の傍観者、キュースト。「迷い続ける一人の修羅、賢治」と「田園の都会人、賢治」の姿がだぶる。原作のキューストの結末、或いは賢治の晩年には、不安や諦めさえ浮かび上がる。それは、やがて迎える大戦の黒い陰なのかもしれない。

大いなる挫折は賢治だけのものなのか？協同組合の誕生を喜ぶ農民たちの農村改革は本当に美しい未来を結ぶのか。

我々は、物語と賢治の生き様のその外側で、21世紀の初頭にそれらすべての崩壊する音を聞いているのかもしれない。我々は賢治が70年前、東北の厳しい自然の中で夢見たように、もう一度、我々の未来を模索せねばならないのだ。本当の「ポラーノの広場」を求めて……



中村敬一 [台本・演出]

Keiichi NAKAMURA [Libretto, Production & Staging]

1957年東京に生まれる。武蔵野音楽大学、同大学院で声楽を専攻。卒業後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敏夫、栗山昌良、三谷礼二、西沢純一の各氏のアシスタントとして演出の経験を積む。1989年より、文化庁派遣在外研修員としてウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を研修。帰国後、二期会公演「三部作」(ブッチー二作曲)、東京室内楽劇場公演「ヒロシマのオルフェ」、日生劇場公演「笠地蔵・北風と太陽」で、演劇力が絶賛され、1995年、第23回グローオペラ、新人賞を受賞する。2001年、大阪舞台芸術奨励賞を受賞。国立音楽大学、大阪音楽大学講師。

オペラ「ポラーノの広場」が、鳥取オペラ協会の宝に！ 松岡 究

今までの鳥取オペラ協会との共同作業は、二度の「フィガロの結婚」、RAKUGOPERA「魔笛」でした。そして今回の「ポラーノの広場」で4年目になります。この4年の間に、この鳥取オペラ協会は飛躍的に発展いたしました。その原因は、鳥取オペラ協会の皆さんのオペラに対する渴望とでも言うべき情熱の賜物に他なりません。勿論、色々な問題はあります。



まずは人材。「もっとたくさんの色々な声が必要。」「この願いがかなうことで、モーツァルトに限らず色々な作品が上演できるようになります。しかし、あせりは禁物。少しずつ良い人材を集め、また、この鳥取オペラ協会ならではの出し物を持てれば、この協会は鳥取の宝になるでしょう。今回の「ポラーノの広場」が、そうなって欲しいと願っています。

次には、技術的な課題。舞台上上演される以上、技術が稚拙では話になりません。一人一人がまじめに真剣に取り組むべき問題ではありますが、その勉強する機会をも与えなければなりません。つまり、この数年やってきたことが取りも直さず、素晴らしい勉強の機会でした。

「100回のリハーサルより1回の本番」これは私が体験上、確信を持って言える言葉ですが、一度の本番がどれだけ、その人間を大きく成長させることができるか、それは想像をはるかに超えたものです。しかし、勉強の場ではありますが、発表会ではありません。公演なのです。オペラが少しずつでも地域に根付き、ポピュラリティーを獲得していかなければ、また、その勉強の機会も奪われてしまいます。全員がある一種の、プロ意識を持って取り組んでいく必要があるでしょう。

今回のオペラ「ポラーノの広場」、海外作品を中心に色々と日本初演を手がけてきた私にとりまして、全くの新作を指揮することは、大変楽しみであり、また恐ろしいものでもありました。しかし、新倉健氏のスタイルを一つ一つひも解き、稽古を重ねていくうちに、私はこの作品が大変好きになりました。全く新しい作品を理解していく作業は、とても楽しいものでした。

今日、この公演にあたり、この素晴らしい作品が、中村敬一氏の素晴らしい演出を伴って、新たな息吹のもと、皆様目と耳に届きますよう祈つてやみません。



松岡 究 [指揮]

Hakaru MATUOKA [Conductor]



成城大学文学部卒業、音楽学を戸川幸夫氏に学び、指揮を小林研一郎、声楽を山田茂の各氏に師事、1987年東京オペラブロードユース公演「ビバロ・マンマ」(ドニゼッティ作曲)を指揮してデビュー。1991年、文化庁在外派遣研修員としてハンガリー国立音楽団及び国立歌劇場に留学、1992年夏スウェーデン・アルゴスト音楽祭に参加、「卓越した才能」と高く評価された。さらにヨルマ・ハヌラ教授に師事、同教授からディプロマを与えられた。帰国後、93～96年、神戸オリエンタル劇場管弦楽団常任指揮者、「ロミオとジュリエット」(グノー作曲)、「ペートルとベネディクト」(ペルゴレージ作曲)、「恋愛禁制」(ワグネル作曲)、「無口な女」(R.シュトラウス)と初演の取り組み、「さわめてパランス感覚に富んだ逸材」(読売新聞)、「R.シュトラウス特有の繊妙な響きを引き出した」(日経)、「熟達な指揮ぶり、自らが見届く表現に歌手を自然に導いていく」(日経)、「オケから唯美的な響きを出し、独歩」(音楽之友)など各方面より絶賛された。昨年6月のヴェルディ「王国の一日」(日本初演)、4月のプッチーニ「ねじの回転」(新国立劇場)、12月のヴェルディ「2人のフォスカリ」(日本初演)、本年はR.シュトラウス「無口な女」の再演で各紙より絶賛された。鳥取県では、シルクス室内オーケストラ結成以来東進し、これまで第九公演、モーツァルト及びフォーレの「レクイエム」を複数回指揮し絶賛された。オペラでも、鳥取オペラ協会公演で「フィガロの結婚」「魔笛」等を指揮し大好評を得た。



イーハトーヴォの空気感

増田寿子

～舞台美術について～

演出家の中村敬一さんに「ちょっと手伝って」と声をかけられ、はじめて鳥取を訪れたのは、3年前のよく晴れた秋の昼下がりのことでした。

「山路印象派宣言」という旅行会社のキャッチフレーズが目につく倉吉の駅で、長い乗り継ぎ

待ちをして、浦安駅に

向かいました。意欲しに、やわらかで明るい陽射しに豊かに実った稲穂が波うつつをみながら、電車はすすきをわけて進んでゆくのです。忙しい毎日に癒されていた心と体がゆるんでいくような、不思議な感触がしたのをよく覚えて

います。「印象派の、積みわら色の、ひなたぼっこのおい」が、私の秋の鳥取です。

もちろん季節や天候にもよりますが、土地土地にはそれぞれのおい

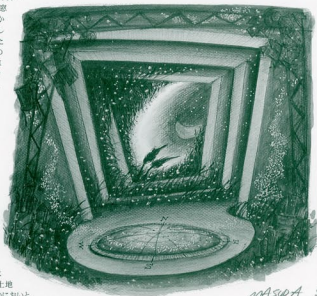
いうか、「空気感」とでもいうようなものがあって、舞台美術で表現される一番大切なものの一つです。「ポーラの広場」では「すきとおった風、夏でもそこに冷たさをもつ青いぞら、イーハトーヴォ、ぼくらまち」と歌われています。東北に行ったことのない私は、「イーハトーヴォ」の空気感を実感してみたくて、最終プランに入る前に、岩手県をたずねることにしました。

花巻をまわって、小岩井に着いたのは5月の25日、翌26日には小岩井ウォークというイベントに参加して、小岩井駅から賢治さんの長編詩のルートをたどって歩きました。大きな土壌改良や、随分モダンだった当時の農場の経営の話、植物、動物の話やうかがいながら、畑の道をのぼり、農場

の中をぬけ、翠なる岩手山を眺めながら感じた風。

もちろん「イーハトーヴォ」のはなしですから実在のものとは違いますが、きつこの物語の「空気感」は、あのすきとおった、みどりやゆらした、青いぞらをうつした、そしてあこがれや、恋しみをたくさんふくんだあの風なのだと思います。

あの時感じた風のおいが、音楽といっしょにオペラを見てくださる皆さんに伝わりますように、と祈ります。



MASUDA SUMIKO.



増田 寿子 [装置・映像プラン]

Sumiko MASUDA [Scenery Designer]

静岡県に生まれ、山中元のアシスタントを経て、1989年「魔笛」でオペラデビュー。

主な作品として大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス「フィガロの結婚」「ドン・ジョバンニ」「図々れ人」「夜間飛行」

びわ湖ホール青少年オペラ劇場「小さな煙突掃除屋さん」「森は生きている」「ヘンゼルとグレーテル」、新国立劇場二期会オペラ新舞

台共催「沈黙」など、第29回伊藤蓑洲賞新人賞を受賞。

この他、各地のシテオペラ公演、演劇、バレエ、ミュージカルなどを多数手がけている。



巖木 実 [照明プラン]

Minoru MOMIKI [Lighting Designer]

私が鳥取オペラ協会の仕事として載くのは今回が2回目です。前回は「フィガロの結婚」という作品で大勢の方が知っておられる作品でした。今回は第17回国民文化祭ととりて2002の高に書き下ろした新作オペラ「ボラーノの広場」という事で照明プランの仕事をした作品そのものより新作オペラという文字に十で興味と満き自分なりに良い作品にするぞと力が入ってくるのが分りました。

新作というのはすごくやりがいがあります。それは何故かと言いますと、誰もやったことのない作品に舞台面や美術プラン及び台本から、自分なりにイメージを膨らませて一つの世界を作り、それをその作品の中に詰め込んで自分なりの色でステージを染めて表現出来るということです。照明プランナー冥利に尽きるからです。

今回、このような力を発揮する場を与えて下さり有難うございました。試行錯誤を繰り返して出来た感動的な世界を充満楽しんで下さい。

1990年大阪府立大入社、1981年大阪厚生年金会館照明担当常勤、1990年花と緑の博覧会メインホール照明担当、1990年大阪府立DESK勤務、関西歌劇団定期公演オペラのチーフオペレーターとして参加する一方、関西ダンス・バレエのプランなど担当する。1997年大阪（ホーム）オープニングセレモニー照明プランを担当する。1997年より毎年関西歌劇団定期公演の照明プラン担当、1999年より毎年チカレージハウス照明プラン担当、2001年日本照明家協会会員優秀賞（舞台部門）を受賞、2002年関西二期会室内オペラシリーズ照明プラン担当、現在に至る。



小野 隆浩 [音響アドバイザー]

Takahiro ONO [Sound Adviser]

私も宮沢賢治と同じ東北の山村の生まれです。賢治が聞いたであろう音の中で私も育ちました。「ボラーノの広場」が私がイメージした音も、きっと賢治の感じた音だと……。

秋田県出身。株式会社オープンロード、株式会社ストーリーレーンを経て、現在財団法人びわ湖ホール舞台技術課所属。主としてオペラやクラシックコンサート、劇場音響コンサルタント等を手がける。建築音響的手法と電気音響の効果的使用による音場表現は、劇場空間に自然な響きを作りだし、その芸術的表現力には定評がある。日本音響家協会・日本舞台音響家協会会員、第3回出光音楽祭・第2回日本音響家協会賞受賞、著書「オペラと音響デザイナー～音と響きの舞台をつくる～」新評論。



青木 一雄 [舞台監督]

Kazuo AOKI [Stage Manager]

宮沢賢治の作品は子供のころ何冊も読んだのですが「ボラーノの広場」は今回はじめて原作を読みました。現代の私たちにとっては色々と考えさせられる作品だと思います。この作品のオペラ公演に参加できるとも感謝しています。またオペラ公演のみならず鳥取県での国民文化祭の成功をお祈りいたします。

1994年、近畿大学商経学部卒業し株式会社スタッフユニオン入社。入社後山中元氏の舞台監督助手として多くの作品に参加。堺シティアンパルクムニクス歌劇団合同公演「ンゼンとグレート」を本格的に舞台監督として活動。その後堺シティアンパルクムニクス歌劇団オペラ・川西市民オペラ・おべらくご・大阪芸術大学オペラ公演・加古川シティアンパルクム・神戸フォーレ協会など関西を中心に多くの団体の作品に参加。鳥取オペラ協会には幹事の「フィガロの結婚」に続いての参加。



半田 悦子 [衣裳プラン]

Eriko HANDA [Costume Designer]

宮沢賢治の世界。それは時を超え場所を超えながらもどこかとも日本の運命。このボラーノの広場に集う人々は私達の分身かと思える身近さ。お伽話で終わらせず。舞台に入り込む癖のひとつとしての衣裳・小道具プランではございますが、お書きまが運営で迷って外に出る暇にはなりません。いつまでもこの世界を楽しんでいたいただけに幸いです。

東京造形大学アキスタイルデザイン科卒業
オペラ、演劇、ミュージカル、バレエ等の衣裳デザインを多数手掛ける。
1998年伊藤嘉高賞大賞受賞

(主な作品)

- オペラ「沈黙」(新国立劇場)、オペラ「御柱」(カノホール)
- 「なりゆき花嫁」(新国立小劇場)、「なよたけ」(新国立劇場)
- 「三人姉妹」(伏見谷ブラックシアター)、「狸町」(演劇集団円)
- 「フユヒ」(劇団青年座)
- 「ノイズ・オフ」(ホリプロ)
- 「パレエ・ドラゴンクエスト」
- (スターダグチーズ)
- バレエ団)他。



唐谷 裕子 [演出助手]

Yuko KARATANI [Assistant Staging]

この「ボラーノの広場」によって、より一層鳥取オペラ協会の団結力が生まれたのでは！と感じております。「ボラーノの広場」の公演に携わる事が出来て、とても幸せです。

大阪音楽大学音楽学部声楽専攻卒業、同学部専攻科声楽専攻(演出)第1期生を修了。声楽を林誠、今井つか、演出を中村敬一、芦田敬雄、花田英夫の諸氏に師事。在学中から大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス、関西歌劇団、関西二期会、びわ湖ホール青年オペラ劇場などの演出助手として従事。現在、鈴木敬介、中村敬一、芦田敬雄、岩田達宗、岸原広樹、各氏のアシスタントとして活躍中。鳥取オペラ協会公演には、第1回より中村敬一氏のアシスタントとして参加している。昨年、国際交流基金主催「夕鶴」中央アジア(ウズベキスタン・カザフスタン)公演に参加。日本舞踏 山村流名取り、[山村 若知織]



CAST-Profile

キャストプロフィール



キュースト 吉田 章一
Kyuuto / Akikazu YOSHIDA

鳥取大学教育学部卒業。広島大学大学院学校教育研究科修了。声楽を小林英典、西園千秋、佐藤景、吉田征夫、平野弘子の各氏に師事。ソロ、ジョイントリサイタルの他、モーツァルト、フォーレの「レクイエム」、パッサの「ヨハネ受難曲」

のソリストを務める。

オペラ「コシ・ファン・トゥック」(フィガロの結婚)に出演。鳥取ブリスデン、よなご童謡の会、米子リサーチ研究会、鳥取オペラ協会各会員。カワルホールよりCD「冬の旅」リリース。現在、米子市立磨成小学校勤務



ミーロ 恩田 千絵
Milo / Chie ONDA

鳥取大学教育学部特設音楽課程(声楽)卒業。藤井文子、白石由美子の各氏に師事。これまでにオペラには「フィガロの結婚」にケルビーノ役で、「魔笛」ではゲーム役で出演し、高い評価を得た。また、倉吉未来中心図書館記念として再演した「フィガロの結婚」でも再びケルビーノ役で登場し、高い評価を得た。

昨年の「鳥取県の音楽家たちコンサート」に招聘されたり、今年の「アゼレアのまちな音楽祭」のファイナルコンサートのソリストに選ばれたり、近年の活躍が目まぐるしい。現在、松本商店勤務。鳥取オペラ協会会員。



ファゼーロ 寺内 智子
Fasel / Tomoko TERAUCHI

大阪音楽大学音楽学部声楽専攻科修了。関西二期会研究生を経て1998年よりイタリア留学。ボルツァーナにてM・ヴェルナー氏による声楽マスターコースを受講しディプロマ取得。また、オペラ「カプレーチーナ」とモンテツッキ家「ジュリエッタ」役、「ラ・ボエーム」ミミ役等でコンサートにも出演。帰国後も神戸アーバンオペラ「フィガロの結婚」スズナ役をはじめ「カルメン」ミカエラ役、「愛の妙薬」アディーナ、ジャンネッタ役やコンサートを中心に活動中。

第29回イタリア声楽コンクール金賞、第20回船橋新人声楽コンクール大賞及び文部大臣賞等受賞。第12回ABC新人オーディションでは最優秀賞を受賞し2003年2月ザ・シンフォニーホールにて大阪フィルハーモニー交響楽団と共演予定。天野春美、E・フツァイ、田原祥一郎、各氏に師事。関西二期会正会員、鳥取県高等学校非常勤講師、鳥取オペラ協会会員。



ロザーロ 尾前 加寿子
Rosalo / Kazuko OMAE

作編音楽大学声楽科卒業。モーツァルトケム音楽院(オーストリア)にて学ぶ。坂本栄実、ルドルフ・クノール、村田建司、飯田純子、平野弘子の各氏に師事。1991年、帰国記念リサイタル後、リサイタル2回。1996年、モーツァルト「レクイエム」ソリスト(米子公演)、鳥取オペラ研究会公演「河童譚」(子ウサギましろのお話)に出演。1998年、アゼレアのまちな音楽祭出演。鳥取オペラ研究会公演「コシ・ファン・トゥック」に出演。1998年の鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」にスズナ役で出演し、好評を得る。

2000年「魔笛」公演ではパミーノ役で好評する。鳥取県の音楽家たちコンサート出演。現在、みづばしようコーラス、のぞみ会ミルフィオー指揮者。鳥取ソリスト、鳥取オペラ協会会員。



山猫博士 西岡 千秋
B.Ganto Destupago / Chaki NISHIOKA

武蔵野音楽大学声楽科卒業。同大学院声楽専攻修了。市田キヨ子、尾田生次郎の各氏に師事。数々のオペラ出演の他、リサイタルをはじめとする演奏活動を行っている。また、県内においては第1回公演のソリストを務めたり、アゼレアのまちな音楽祭、鳥取県の音楽家たちコンサートなど常連演奏家として活躍。県内公演のオペラでは、これまで「電話」「コシ・ファン・トゥック」「フィガロの結婚」「魔笛」、そして倉吉未来中心図書館記念として公演した「フィガロの結婚」でアラマヴィエーヴァ伯爵役を歌って大好評を得た。

また、鳥取オペラ協会の公演すべてのプロデューサーとしても活躍している。現在、鳥取大学教育地域科学部助教授。ニーラサ節の会、ブレグニス・レディース・アンサンブル、合唱団ほかの、指揮者。鳥取オペラ協会演奏部部長。



テモ 山田 康之
Temo / Yashuyuki YAMADA

鳥取大学教育学部卒業。西園千秋氏に師事。1996年、鳥取オペラ研究会公演「河童譚」(子ウサギましろのお話)に出演。1998年、アゼレアのまちな音楽祭でバリトン・ソロコンサートに出演。オペラ出演はこれまで、「コシ・ファン・トゥック」にダリエルモ役、「フィガロの結婚」ではタイトルロールを歌い、「魔笛」ではパレバゲー役をこなし、高い評価を得てきている。現在、青谷町立青谷小学校に勤務。鳥取オペラ協会理事。


給仕 北村 保史

Waiter / Yasushi KITAMURA

鳥取大学教育学部卒業。声楽を西岡千秋、平野弘子の各氏に師事。1990年、国民文化祭演劇部門に出演。1995年及び2001年リサイタル開催。2001年11月デュオリサイタル開催。1998年鳥取オペラ研究会公演「コシ・ファン・トゥッテ」に出演。鳥取オペラ協会第1回公演「フィガロの結婚」にバジリオ、クルワイオの二役で出演し、その演技力が高く評価された。鳥取オペラ協会第2回公演「魔笛」に出演。現在、鳥取市立津ノ井小学校勤務。鳥取オペラ協会会員。


巡査 加藤 耕一

Policeman / Kotchi KATOH

鳥取大学教育学部特設音楽課程（声楽）卒業。在学中より「魔笛」「コシ・ファン・トゥッテ」に出演。1998年、鳥取オペラ研究会公演「コシ・ファン・トゥッテ」に出演。鳥取オペラ協会第1回公演「フィガロの結婚」には合唱参加。「魔笛」にはタミーノ役で出演し好評を得る。現在、大山中学校に勤務。鳥取オペラ協会会員。


床屋の親方 小椋 美香子

Barber master / Mikako OGURA

作楽音楽大学声楽科卒業。同大学専攻科修了。在学中からオペラマイスタークラスに在籍し、研究生課程を修了。船瀬幸子、西内尚、フォルカ・レニツェ、小松美典の各氏に師事。オペラには「コシ・ファン・トゥッテ」にフィオレディーン役、「フィガロの結婚」にはスゼンナ役、「魔笛」ではパバゲーナ役で出演している。また、倉吉未来中心開館記念として公演した「フィガロの結婚」では再びスゼンナ役で登場し、その充実ぶりが注目された。鳥取オペラ協会会員。


床屋の職人① 山尾 純子

Barber staff / Junko YAMAO

国立音楽大学声楽科卒業。日仏歌曲研究会第9期生。北村篤子、清水明子、岩崎由紀子、平野弘子の各氏に師事。1991年、フランス歌曲の夕べ（東京）に出演。1999年、アゼレアのまら音楽祭フェイナルコンサートにゲスト出演。同年「フィガロの結婚」にバルバリナ役で出演し好評を得る。倉吉未来中心開館記念として再演した「フィガロの結婚」でも再びバルバリナ役で登場し、好演した。わらべ館、童謡・唱歌推進員。鳥取オペラ協会会員。


床屋の職人② 塩崎 めぐみ

Barber staff / Megumi SHIOSAKI

鳥取大学農学部卒業。声楽を藤井文子、西岡千秋両氏に師事。鳥取オペラ協会第2回公演「魔笛」でクナーベ役で出演。ブレイグス・レディース・アンサンブルに所属。鳥取オペラ協会のオペラ公演舞台監督部員としても活躍している。現在、鳥取銀行本店営業部勤務。鳥取オペラ協会会員。


農夫 松本 厚志

Farmer / Arushi MATUMOTO

鳥取大学教育学部卒業。由良育英高校・鳥取大学演劇声楽団（フルコール）に所属し、佐々木道也氏に師事。その後、演劇声楽団「みお」を経て、男声合唱団「紅」、鳥取男声合唱団にて活躍している。1999年、鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」に合唱参加。翌年「魔笛」にモノスタス役でソリストデビューし好評を得る。倉吉未来中心開館記念として公演した「フィガロの結婚」では、個性的なバジリオを好演し高い評価を得ている。また、各種合唱団にも参加し、ソリストとしての活動もめざましい。現在、赤碓町立安田小学校勤務。鳥取オペラ協会会員。

Profile プロフィール



竹田 篤司 [副指揮]

Atushi TAKEDA [Assistant Conductor]

鳥取大学教育学部中学校教員養成課程音楽専攻卒業。現在、八頭高等学校教諭。鳥取県吹奏楽連盟副理事長。

新倉健氏の作品「流し難幻想」「忍冬(すいこう)」 「西飛天」を初演指揮。鳥取市民合唱団

常任指揮者。アンサンブルSHADE主宰。



佐々木 道也 [副指揮]

Michiya SASAKI [Assistant Conductor]

倉吉混声合唱団・R・オーケストラ・鳥取県吹奏楽団の指揮者を歴任。鳥取県県民による「第九」の合唱指導を第1回以来7回にわたりつとめる。現在、合唱団「コーロ アルモニコ」指揮者。鳥取大学混声合唱団「フィルコール」常任指揮者。

MINKUSU Chamber Orchestra

ミンクス室内オーケストラ



ミンクス室内オーケストラは、山陰各地のアマチュア・オーケストラ活動に飽きたらず、プロの指揮者の元で十数年にわたって鍛えられた演奏家集団です。常にハイレベルの音楽づくりを堅持し、全国的に見ても限りなくプロに近い特異な存在です。

昨年度の音楽祭では、倉吉未来中心大ホールの美しい響きとあいまって、大勢の聴衆を魅了しました。初めてこのオーケストラと出会われた人々は口々に「こんな素晴らしいオーケストラが鳥取県にあったのか！」

と感嘆の声を上げておられました。

そしてこれまで、アマチュアでは難しいとされてきたモーツァルトのレクイエム、フォーレのレクイエムなどをハイレベルでクリアし、更に鳥取オペラ協会のオペラ公演において「フィガロの結婚」「魔笛」等では圧倒的な成功を取ってきました。特に昨年度の「フィガロの結婚」再演においては、完成度の高い演奏を可能にし、山陰で最もレベルの高い室内オーケストラとしての地位を不動のものにしています。

1st.Vn 吉田明雄・野村知則・湯原洋子
曾田千鶴・宮崎万里・釋 伸司
2nd.Vn 伊藤 明・菊池優理・佐倉伸一
益尾恵美・永江佳代・松本沙希
Vio 足立 淳・松永佳子・須々木由美子
北山三枝子
Vc 中野俊也・須々木竜紀・日野俊介
古川周一
C-B 渡辺琢也・大津敬一・生田祥子

Fl 稲田真司・吉瀬由美子
Ob 古川雅彦・上代美樹
Cl 杉山静香・山田祐司
Fg 伊藤 昇・橋本美紀子
Tp 熊谷健二・大場明夫
Hr 山口 明・東りさ・江原雅章
渡辺知恵子
Tb 鍋田 誠・梶見公義・大口康彦

Tuba 中塚隆介
Hp 前岡和恵
Timp 村井克弘
Perc 大口久仁子
姥 巧
河原由佳
KeyB 兼田恵理子

Polano Chorus

ポラーノ合唱団

Soprano



Alto



Tenor



Bass



sp 岩井祥子・木下愛・森 尚美・山根修子
 中井暁子・鈴木百百子・小椋美香子・山尾純子
 浅中志津加・岩田幸恵・近藤登喜子・佐藤慎子
 鈴木妙子・富永咲子・中本千鶴子・前田富子
 土井由美子・河本真優美・岡田初代

alt 浜中雪絵・鶴崎千晴・八幡ゆうこ・山本紬子
 永見弘榮・塩崎めぐみ

足立紀子・石倉幸子・伊藤万有美・上之浜雪枝
 内海紀子・大瀧万紗子・梶野真理子・加藤安津子
 神谷跡子・菊池三重子・岸本やよい・篠田愛子
 塚本明子・松田舎子・渡辺和子

ten 利川寛実・加藤耕一・北村保史・松本厚志
 浅井英夫

池沢秀夫・川上 宏・田中信之・菱谷哲郎
 徳田徹志・里田晴徳

bas 森田桂介・王 康治・魚住保幸・谷口裕章
 高橋祐己・佐藤真人・山田康之・小井出康修